

◎ ふりかえりの充実

1年生

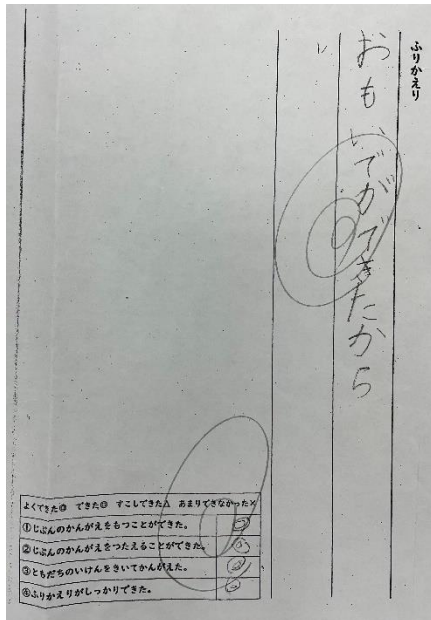
(教材) 国語「くじらぐも」(光村図書 一年上) 7/8時間目

(めあて) げんきよく、青い空のなかへかえってたくじらぐものきもちをかんがえよう。

(話し合った内容とふりかえりの評価)

なぜ、くじらぐもは元気よく帰っていったのかを考えさせるために、くじらぐもと子どもたちのお別れの場面で、子どもたちがくじらぐもに言った言葉を考えさせ、その言葉を聞いたくじらぐもの気持ちを話し合った。

① B評価



上記のふりかえりは、くじらぐもと子どもたちが空の冒険を楽しんだ後、なぜ元気よく青い空の中へ帰って行けたのかを話し合いを通して理解し、理由を書いているが、話し合った内容を元に具体的な根拠が書かれていないため B 評価となる。

② A評価

ふりかえり

また学校にきてなつてゆくてくれるとほく
 かのことがないさきまでおもたからけんさ
 かせつてった。

よくできた◎	できた◎	すこしできた△	あまりできなかった×
①じぶんのかんがえをもつことができた。	◎		
②じぶんのかんがえをつたえることができた。	◎		
③ともだちのいけんをきいてかんがえた。	◎		
④ふりかえりがしっかりできた。	◎		

上記のふりかえりは、授業で話し合ったお別れの時の様子を根拠に、元気よく青い空の中へ帰っていったくじらぐもの気持ちがかかれているのでA評価となる。

2年生

(教材) 国語「わたしはおねえさん」(光村図書 二年下) 9/10 時間目

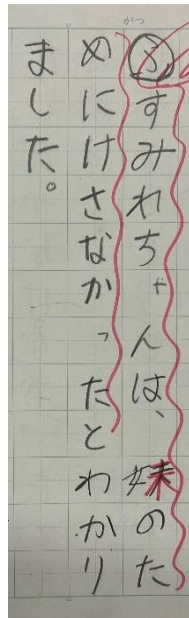
(めあて) すみれちゃんは、けしかけて、でもけすのをやめたのはなぜか考えよう。

(話し合った内容とふりかえりの評価)

すみれちゃんの言動で心に残ったこと(おもしろいところ、不思議に思ったところ、疑問に思ったところなど)を書いた。その中から学習課題になるものを選んだ。

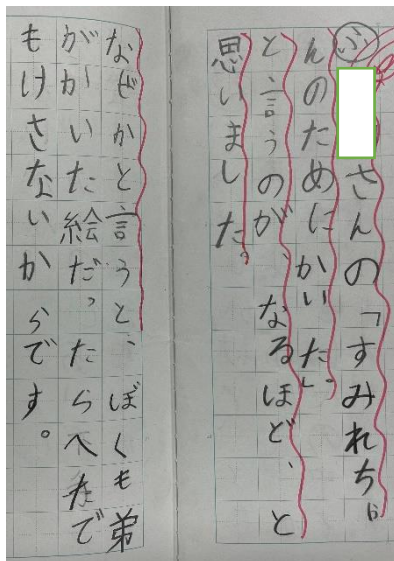
「すみれちゃんは、けしかけて、でもけすのをやめたのはなぜか考えよう。」では、まず自分の考えをノートに書き、ペア→全体の話し合いへと進めた。

① B評価



上記のふりかえりは、めあてに対して、妹のことを考えてけさなかったことが書けているが、なぜ変わったかの理由などが書けていないので、評価としては B 評価である。これからの授業で、仲間の意見のどこに共感したか、また意見が変化するときには、なぜ自分の意見が変わったが書けるようになるように取り組んでいく。

② A評価



上記のふりかえりは、友だちの意見を聞いて、自分では思いつかなかったが、共感できたことが書けている。またそこから自分にふり返って、共感できた理由（けさなかった理由）も書けているので評価としては、Aと考えた。

3年生

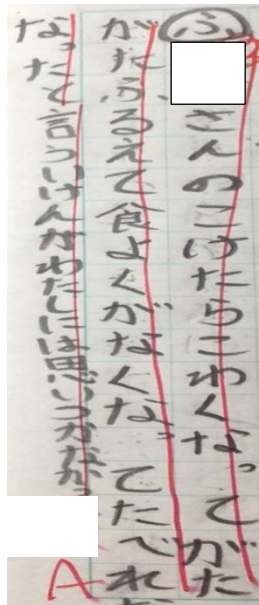
(教材) 国語「三年とうげ」(光村図書 三年下) 5/8 時間目

(めあて) 三年とうげで転んでしまったおじいさんは、なぜ病気になってしまったのかを考えよう。

(話し合った内容とふり返りの評価)

なぜ三年とうげで転んでしまっただけで、おじいさんが病気になってしまったのかを話し合った。話し合いを通じて、三年とうげの言い伝えを信じて不安になり、本物の病気になってしまったことに気づかせることを目標にした。まず、自分の考えをノートに書き、ペア→グループ→全体の話し合いへと進めた。

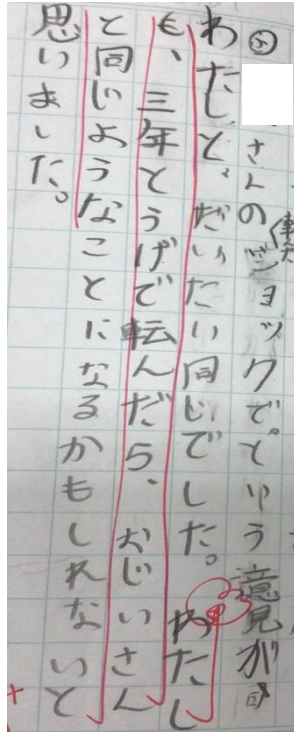
① B 評価



上記のふりかえりを書いた児童の場合、「三年とうげ」の本文の『おじいさんは、ごはんも食べずにふとんにもぐりこみ、』という記述から、「ごはんを食べずにおなかがすいて病気になった」と、おなかが空いたことが原因で病気になったと考えていた。

話し合いを通して、おじいさんが三年とうげで転んだことの恐怖により、食欲がなくなったという考えに共感することができている。ただ、その恐怖や不安から本当の病気になってしまったところまでは到達していないため、B 評価となる。

② A 評価



上記のふりかえりを書いた児童の場合、自分で考えをノートに書いた時から、おじいさんが三年とうげで転んだショックで、本当の病気になったことに気づくことができている。さらに自分に置き換えて振り返ることができているので、A 評価となる。

4年生

(教材) 国語「プラタナスの木」(光村図書 三年下) 7/8 時間目

(めあて) プラタナス公園は4人にとって変わったのか。

(話し合った内容とふりかえりの評価)

切り株だけになってしまったプラタナス公園は4人にとって「変わった」のか「変わっていない」のかについて話し合いを行った。

① B 評価

④ プラタナス公園は、四人にとって、変わったのか。

変変わった

P92「木が切られてから、おじいさんは公園にすがたを見せなくなっていた。サッカーも前ほど白熱しなくなり」というところでプラタナスの木はもう切られてしまったから、プラタナスの木がはえるまでは、プラタナス公園ではなくて、ふつつの公園だと思った。

⑤ 話し合っていて、〇〇さんの、「地下の根」のことを想ぞうを聞いて、プラタナスの木は切られたけれど、根はのこっているから、プラタナス公園は変わっていないと思っ意見は変わりました。

切り株だけになってしまったプラタナス公園は4人にとって「変わった」のか「変わっていない」のかについて話し合いを行った。

ふりかえりの内容としては、他者からの意見を聞き納得し、結果、「変わっていない」という意見に変わったが、ここまででふりかえりが終わっているので B 評価とした。

② A 評価

④ プラタナス公園は四人にとって、変わったのか。
変わっていない
、ワズベに「ほくたちかみさや枝や葉っぱの代わりだ」と
かいていたから、
切りかぶはのこっているから
⑤ わたしは「変わっていない」という意見は変わりま
せん。プラタナスが切られたから変わった、といこつ
意見を聞いてなるほど思いました。が、切りかぶ
はのこっているし、切られた部分は自分たちの代わりになっ
ています。プラタナスの代わりになっ
ているから、わたしは「変わって
いない」と思います。

ふりかえりの内容としては、他者からの意見を聞き納得したが、自分や自分と同じ意見の人からの話を聞き、より「変わっていない」ということを主張できている。なおかつ、最後に、自分の意見「切り株は残っているし、切られた部分は自分たちの代わりになっているから」という+ α の意見を書くことができているので、A評価としている。

5年生

(教材) 国語「なまえつけてよ」(光村図書 5年上) 4/5 時間目

(めあて) 春花の勇太に対する気持ちを話し合い、自分の考えをまとめよう。

(話し合った内容)

勇太の不器用な優しさに触れ、勇太の人柄や思いが伝わり、うれしい気持ちになったと全体の話し合いを行った。

① B 評価

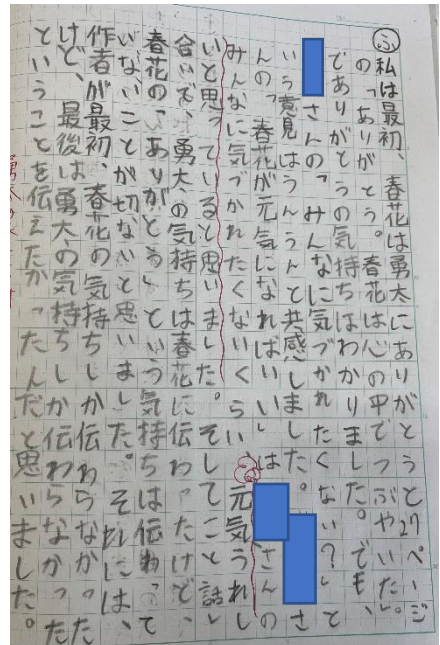
春花の勇太への思い

○「心の中でつぶやいたありがとう」春花の気持ちを
読み取れている。

叙述から考えられている。

友だちの考えを自分の考えにつなげられている。

△「春花の思いが伝わっていないことが切ない。」
読みが深まっていない。



勇太の思いと春花の思いのすれ違いについて書いているが、本時のねらいに対して、少しずれが見られる。春花は勇太の不器用な優しさに触れ、勇太の人柄や思いが伝わり、うれしい気持ちになったと全体の話し合いになったが、その部分を書ききれていない。叙述から考えられている、他者の意見もふまえて考えられているが、B 評価とした。

話し合いの中で出たどの言葉がキーワードになるのか、読み取る力・選択する力が弱いと考えられ、学級の課題でもある。

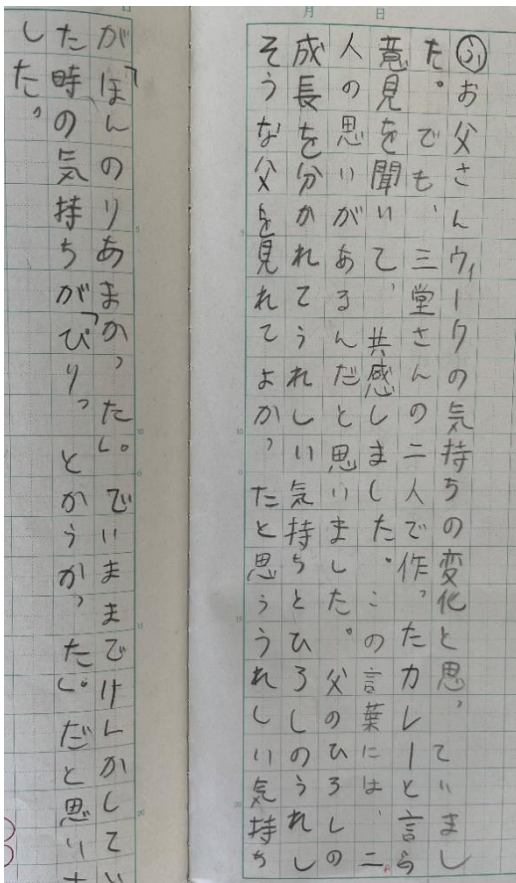
(教材) 国語「カレーライス」(光村図書 5年上) 6/7 時間目

(めあて) 「ぴりっとからくて、でも、ほんのりあまかった」にこめられた思いについて話し合い、自分の考えをまとめよう。

(話し合った内容とふりかえりの評価)

最後の一文「ぴりっとからくて、でも、ほんのりあまかった。」にこめられた思いについて話し合あった。

② A 評価



最後の一文にこめられた思い

○「二人で作ったカレー。」

「父のひろしの成長が分かったことがうれしい。」

「ひろしのうれしそうなお父を見てうれしい気持ち」など互いの心情を叙述をもとに読み取れている。

自分の考えと結び付けて考えるための適した他者の意見を選択できている。

これまで学習してきた、登場人物の葛藤や父との関係性等をふまえて意見を出し合い、ふり返りを行った。

ひろしのうれしいという気持ちだけでなく、『父の思いを知ることができて、父が喜んでくれた、わかってくれた』の心情まで読み取れているかを基準とした。他者の意見から『二人の思い』、『うれしそうなお父を見てよかった』と書けているので A 評価とした。

6年生

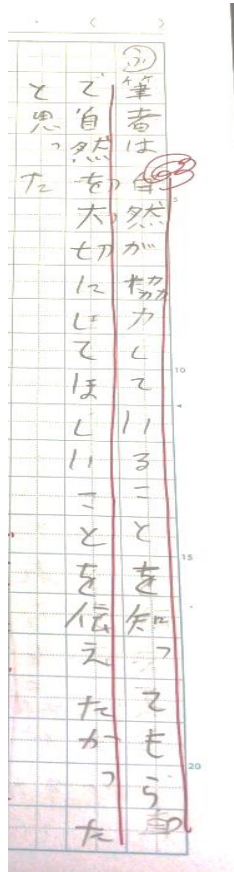
(教材) 国語「森へ」(光村図書 6年) 5/6

(めあて) 筆者は「森へ」を通して何を伝えたかったのかを話し合い、自分の考えをまとめよう。

(話し合った内容とふり返りの評価)

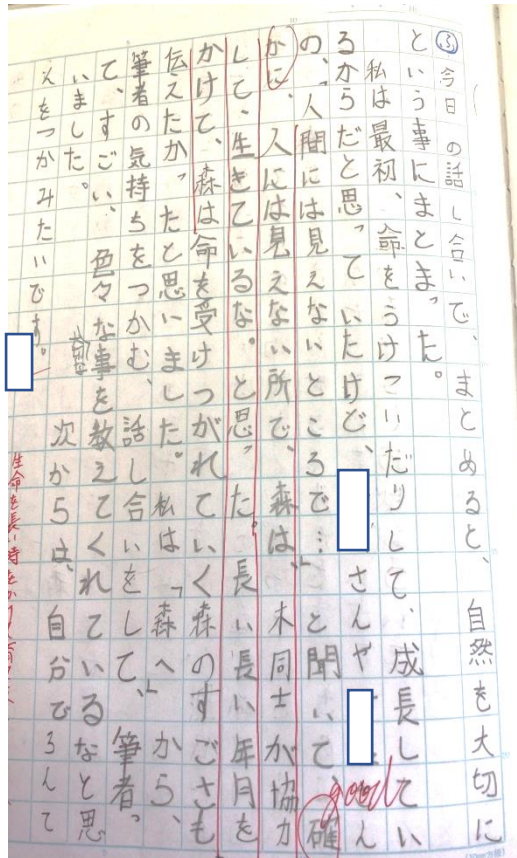
筆者は「森へ」を通して何を伝えたかったのかをテーマに話し合った。命・自然・共生の3つの観点から、意見を出し合った。最終的なゴールは、「作品を通して命が受け継がれている自然の尊さに気づくことができる。」である。また、自分の身近な自然にどのようにかかわっているのか、自然を大切にしていきたい思いや気持ちなども加えて話し合いを行った。

①B 評価



このふり返りでは、自然が互いに協力し合って生きていることの気づきや自然を大切にしていきたい気持ちはあるが、動植物どうしの命のつながりから自然の尊さにはつながっていないため B 評価となっている。

②A 評価



このふり返りでは、人間には見えないほどの長い時間をかけて森は成長していることや動植物どうしが互いに助け合い、森にはたくさんの命のつながりがあることに気づき、書けているため A 評価となっている。